

よこすか ライフプランナー 通信



討議資料

よ う じ ろ う 田中洋次郎

生まれも育ちもハイランド/津久井幼稚園卒園/栗田小学校入学/関東学院六浦小中高卒業/関東学院大学文学部英米文学科卒業/住宅メーカー入社/生命保険会社入社/横須賀青年八日会平成27~28年度会長/ハイランド在住/40歳/A型ヤギ座

横須賀でくらす人のために。
教育には、もっとできることがあります。
医療にも、もっとできることがあります。
じつは問題いっぱい横須賀ですが、可能性いっぱい横須賀と考えたい。
住宅メーカーと生命保険会社で
たくさんの方の人生と向きあってきた経験をいかし、
「よこすかライフプランナー」として、
地元横須賀のまちづくり尽くりに尽くしていきます。

横須賀でくらす人のための 「教育」と「医療」を。

生まれも育ちも横須賀市ハイランド。社会に出てからは、横須賀は寝に帰るだけの場所だった。街がどうなっているか、なんて知らなかったし、知ろうとも思わなかった。

縁あって青年会に入った。ボランティア活動をしてきた。すると見たことのない景色や情報が入ってきた。谷戸に住むおばあちゃんが必死に階段を上っている姿。子どもの数が減っていきスカスカの学校が次々と廃校になっていく姿。学力調査の結果がすこぶる悪いこと。企業がどんどん出ていってしまいい、外から全然入ってこない。だから市の財政は悪化する一方。人口がどんどん減っている。愛着のあったデパートが縮小していく。自分の親しい仲間の会社もふくめて中小零細企業がつぶれていく。高齢化が進み、医療のニーズも増え、お医者さんも看護師さんも大変そうだ。このままで大丈夫なのだろうか・・・

観光に力を入れている。観光客も増えている気がする。外から来てもらうのはうれしい。でもなかなかリピーターが増えていかない。根本的な解決のためには「定住」に目をむける必要がある。自分は住宅メーカーと生命保険会社で働いていた。たくさんの方の人生設計に関わり、わかったことがある。人がくらすうえで重視するのはふたつ。ひとつは「教育」。わが子を通わせたい学校があったら、お父さん・お母さんは通勤時間が30分増えても教育を優先する。もうひとつは「医療」。いい病院や介護施設があって家族が安心するなら、お父さん・お母さんは30分長く電車に乗る。すべては家族愛。そんなシーンを何度も見てきた。目に見えない将来の問題に焦点をあて、対策をうつ仕事をしてきた。この経験を、まちづくりにいかせたいだろうか。

よこすかライフプランナー
田中洋次郎

田中洋次郎からの「提案」

横須賀の中には、外国がある。そんな横須賀ならではの可能性を追求し、横須賀でくらす人のための「教育」と「医療」を。



日本一の**医療都市**をめざしませんか。

愛する家族が重い病気だと
宣告されたときの心境は、はかりしれません。
治る可能性がある病院が近くにあれば。
安心して送り出してあげられる
ホスピタリティの高い施設があれば。
わたしは生命保険の仕事を通じて
家族の病気や死に直面した人々の想いを
たくさん聞いてきました。

将来おこりうることを真剣に想像しながら
不安を解消するための対策を提案する
仕事をしてきました。

まちづくりも同じではないでしょうか。
たとえば、まだ日本では受けることができない
高度な治療や先進医療を
ここ横須賀で受けることができれば。

横須賀には、そんな可能性があると思っています。



世界にひらかれた**教育都市**をめざしませんか。

アメリカ西海岸には、スタンフォード大学があり
シリコンバレーがあり、産学一体となって
世界へさまざまなものを発信しています。

これを横須賀でも。アメリカの大学を呼びこみ
起業家精神と高い生産性をもつ自律型人材を
育成する教育システムを
つくりあげることができれば。

YRP（横須賀リサーチパーク）と連携すれば
世界に通用する情報発信地になれる気がします。

1億2千万人という人口を日本国内で
取りあうのではなく
世界にマーケットをひらいて
世界中から人材が集まる場所に。

横須賀には、そんな可能性があると思っています。

横須賀の可能性は無限大！みなさまの声をお聞かせください

✉ yokosukalifeplanner@gmail.com <http://yokosuka-yojiro.jp>



横須賀市大滝町 2-17 筑波中央ビル 1階 Tel:0468230426 Fax:0468230427